

セーフティ・バイシクルリーダーが自転車安全利用を呼びかけ ～三重県立いなべ総合学園高等学校での県警・高校生等と連携した自転車事故防止啓発活動～

日本損害保険協会三重損保会（会長：三原 二郎 東京海上日動火災保険株式会社 三重支店長）では、三重県警察と連携し、セーフティ・バイシクルリーダーを起用した自転車の安全利用に関するポスター・チラシを制作しました。

セーフティ・バイシクルリーダーは、三重県警察本部が県内に在学する高校生等に委嘱しているもので、模範的な自転車運転等を通じて自転車交通秩序の実現を図る活動を主体的に実施しています。三重損保会では、その活動や交通事故防止に貢献するため、セーフティ・バイシクルリーダーへ活動用オリジナルヘルメットを贈呈しています。三重県立いなべ総合学園高等学校のセーフティ・バイシクルリーダーには、2024年5月1日に活動用オリジナルヘルメットを贈呈しています。

三重損保会および三重県警察では、制作したチラシ等により自転車の安全利用を呼びかけようと、12月9日に三重県立いなべ総合学園高等学校において、同校のセーフティ・バイシクルリーダーとともに自転車通学の生徒に対する啓発活動を実施しました。

当日は、いなべ警察署の新家署長から、「令和6年度内にいなべICの開通も予定されており、交通量が増えると自転車事故も増える。中高生の自転車事故も増えているので、こういった活動を通じて注意喚起していきたい。」というコメントがあり、同校のセーフティ・バイシクルリーダーを中心とした15人で、自転車通学の生徒に対し約300セットのチラシ・啓発品を配付し、ヘルメット着用や反射材装着等を呼びかけました。

三重損保会では、今後も三重県警察ほか関係機関と連携し、交通事故防止活動を行ってまいります。



〈セーフティ・バイシクルリーダーを起用した自転車の安全利用に関するポスター・チラシ〉



<反射材着用を呼びかけ>



<自転車リアライト着用を呼びかけ>



<ヘルメット着用を呼びかけ1>



<ヘルメット着用を呼びかけ2>